

「徳島県スポーツ推進計画」に係るパブリックコメント実施結果

令和4年10月1日（土）から令和4年10月21日（金）まで、「徳島県スポーツ推進計画」についてパブリックコメントによる御意見を募集したところ、9人の方から46件の御意見をいただきました。いただいた御意見に対する県の考え方は次のとおりです。

なお、複数の趣旨を記載いただいた御意見は、細分化させていただきましたのでご了承ください。

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
1	徳島県が各スポーツ大会の開催の誘致促進や各スポーツチームのスポーツ合宿の誘致促進を行う。	<p>県では、第3期計画基本目標4の各施策において、スポーツ資源や観光資源、またこれまでの国際スポーツ大会を契機に創出されたレガシーを活用し、「スポーツコミッション」を核としてスポーツ大会や合宿誘致に取り組むこととしております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
2	徳島県が2025年世界陸上選手権東京大会の開催の際には、ドイツ陸上代表選手チーム、ジョージア陸上代表選手チーム、ウクライナ陸上代表チームの徳島県での事前キャンプ合宿地の誘致を行う。	
3	徳島県がスポーツツーリズムの推進を行う。 ※スペインのバルセロナ市役所は地元FCバルセロナのサッカー観戦とピカソ美術館見学のスポーツ・ツーリズムを推進しています。	
4	徳島県が東京六大学野球連盟又は東都大学野球連盟の協力を得て、鳴門オロナミンCスタジアム又は阿南アグリスタジアムで「東京六大学野球」の開催の誘致又は「東都大学野球」の開催の誘致を行う。	
5	徳島県がJSPO・日本スポーツ協会を通じて、徳島県単独で「踊る!! 阿波おどり国民体育大会・とくしま」の開催を誘致する。 ※JSPO・日本スポーツ協会は、2032年と2033年は国民体育大会の開催地未定	<p>公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）によると、国民体育大会の本大会の開催地については、47都道府県を東・中・西地区に分け、輪番制となっております。</p> <p>本県は1993年に2巡目となる東四国国体を香川県と合同で開催しました。2035年から3巡目の国民体育大会（国民スポーツ大会：2024年より名称変更）が始まりますので、ご指摘くださった本県での開催誘致は、それ以降の西地区が輪番となる年が想定されます。</p> <p>いただいた御意見につきましては、関係機関と連携し、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
6	<p>徳島県が新潟県の総合型地域スポーツクラブの新潟聖籠センターアルビレッジを参考に、徳島県が官民一体となつて徳島県独自の総合型地域スポーツクラブを立ち上げる。</p> <p>※陸上の新潟アルビレックス・ランニング・クラブ、野球の新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ(ルートイン独立BCリーグ北地区)、サッカーのアルビレックス新潟(J2)、バスケットボールの新潟アルビレックスBB(BJ1)</p>	<p>県では、第3期計画基本目標3中の「地域におけるスポーツ活動の充実」において、総合型地域スポーツクラブの自立的な運営や、行政をはじめとした公的機関・組織等とのパートナーシップの構築に努めてまいります。</p>
7	<p>徳島県が官民一体となって、藍色の靴下の徳島インディゴソックス、赤色の靴下のポストン・レッド・ソックス(二軍)、白色の靴下のシカゴ・ホワイト・ソックス(二軍)との「世界三大ソックス国際親善野球大会」の開催を行う。</p>	
8	<p>徳島県がNPB日本野球機構に要望して、徳島インディゴソックス対阪神タイガース(二軍)、徳島インディゴソックス対オリックス・バファローズ(二軍)、広島東洋カープ(二軍)との定期交流戦の開催を行う。</p>	<p>県では、徳島インディゴソックス球団のホームゲームでイベント等を開催し、支援しているところであり、今後もプロスポーツの持つ力が発揮されるよう努めてまいります。</p> <p>交流試合の調整等に直接的な支援はしていませんが、いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
9	<p>徳島県が「VS東京」の取り組みの一環として、徳島インディゴソックス対東京ヤクルトスワローズ(二軍)との練習試合を明治神宮野球場で開催する。</p>	

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
10	徳島県が徳島県高校野球連盟と一体となって、徳島県内の公立高等学校野球部と大阪桐蔭高等学校野球部、履正社高等学校野球部、金光学園大阪高等学校野球部、近江高等学校野球部、天理高等学校野球部、智弁学園高等学校野球部、智弁学園和歌山高等学校野球部、神戸国際大学附属高等学校野球部、報徳学園高等学校野球部等の強化練習試合を行う。	県では、高等学校の春、夏、秋の公式大会に後援を行い、支援しているところです。強豪校との交流試合等に直接的な支援はしていませんが、今回のご意見を参考にさせていただき、高校野球の競技力向上をしっかりと支援してまいります。
11	徳島県及び徳島県教育委員会とが一体となって、徳島県立城南高等学校野球部対静岡県立静岡高等学校野球部との交流試合を開催する。	
12	徳島県及び徳島県教育委員会とが一体となって、徳島県立徳島商業高等学校野球部対岐阜県立岐阜商業高等学校野球部、徳島県立徳島商業高等学校野球部対広島県立広島商業高等学校野球部との交流試合を開催する。	
13	徳島県及び徳島県教育委員会とが一体となって、徳島県立鳴門高等学校野球部対福島県立磐城高等学校野球部、徳島県立鳴門高等学校野球部対静岡県立掛川西高等学校野球部、徳島県立鳴門高等学校野球部対滋賀県立彦根東高等学校野球部、徳島県立鳴門高等学校野球部対鳥取県立米子東高等学校野球部、熊本県立済々黌高等学校野球部との交流試合を行う。	
14	徳島県と徳島県サッカー協会とが一体となって徳島県の「VS東京」の取り組みの一環として、日本サッカー協会及びJリーグの協力を得て、徳島ヴォルティス対FC東京の定期交流戦を開催する。 ※ヴォル太君対東京ポンタの令和狸合戦ポンポコ	
15	徳島県が徳島県サッカー協会と一体となって、日本サッカー協会及びJリーグに要望して、徳島ヴォルティス対横浜F・M、徳島ヴォルティス対川崎フロンターレ、徳島ヴォルティス対浦和レッズ、徳島ヴォルティス対鹿島アントラーズ、徳島ヴォルティス対FC東京、徳島ヴォルティス対サンフレッチェ広島とのプレシーズンマッチの試合を開催する。	県では、ヴォルティスのホームゲームでイベント等を開催し、支援しているところであり、今後もプロスポーツの持つ力が発揮されるよう努めてまいります。 交流試合の調整等に直接的な支援はしていませんが、いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。
16	徳島県ヴォルティスに女性部を創設して、徳島ヴォルティス・レディースとして、女性プロサッカーリーグのWEリーグに参戦する。	

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
17	<p>徳島県と徳島県サッカー協会とが一体となって、徳島市立高等学校サッカー部対さいたま市立浦和高等学校サッカー部、さいたま市立浦和南高等学校サッカー部、徳島県立城南高等学校サッカー部対埼玉県立浦和高等学校サッカー部、徳島県立鳴門高等学校サッカー部対静岡県立藤枝東高等学校サッカー部、徳島県立鳴門高等学校サッカー部対福井県立丸岡高等学校サッカー部、徳島県立鳴門高等学校サッカー部対山梨県立韮崎高等学校サッカー部、徳島県立鳴門高等学校サッカー部と滋賀県立野洲高等学校サッカー部とのサッカー交流試合を開催する。</p>	<p>県では、NEO徳島トップスポーツ校強化事業で指定されている部へ県外遠征や強化試合等ができるように強化費を助成し、支援しているところです。加えて、徳島県高等学校体育連盟競技専門部にもスポーツキャンプ事業にて強化費の助成を行い、県外チームとの強化活動ができる支援をしております。さらに、競技団体からの要請を受け、徳島県として大会等の後援を行っております。</p> <p>第3期計画基本目標2中の「学校を核とした競技力の向上・スポーツ環境の整備」において、今後も引き続き、高校スポーツの競技力向上に支援を行ってまいります。</p>
18	<p>徳島県・兵庫県・鳴門市・南あわじ市・鳴門商工会議所・南あわじ商工会議所などと連携して、大鳴門橋に自転車専用道の整備を行って、淡路島一周サイクリングと一体となったサイクル・ツーリズムを推進する。</p>	<p>県では、第3期計画基本目標3中の「サイクルスポーツの普及促進」において、サイクルツーリズムを推進することとしております。</p> <p>鳴門市から徳島市までの「鳴門・徳島自転車道」を活用した新たなサイクリングロードを構築する他、設定から10年以上になる「自転車王国とくしま公式コース」の再構築を図るなど、取組を進めてまいります。</p>
19	<p>徳島県が新徳島県立体育館の建設工事・徳島県営鳴門野球場の改修工事等には、宝くじの収益金、日本財団の助成金、スポーツくじのtoto・BIG・WINNERの売上金を利用する。</p>	<p>県では、スポーツくじの販売により得られる収益が財源となっている、スポーツ振興くじ助成を活用し事業を実施しております。今後も助成金や他の外部資金もしっかり活用しながら、本県の競技力向上をはじめ、地域におけるスポーツの環境整備や普及・振興を図ってまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
20	<p>元気いっぱい海の気を吸い、手足を使えば、櫓漕ぎという小舟を操る方法があります。これは自然体で、視界は360°に近く、自分の目で進行方向を常時確認しながら運動できるものです。（漕ぎ手と乗り手のコミュニケーションもできます。）</p> <p>日本の伝統文化として千年以上の歴史がありますが、近頃は船外機に取って代われ、海上ではほとんど見られなくなりました。戦前には全国競櫓大会も行われたほどですが、現状では消滅しています。</p> <p>海上スポーツとして復興が可能なように手近な港で静穏な泊地を確保して老若男女が利用できる施設整備をお願いしたいものです。（例えば、使われなくなった水面貯水場などに）</p>	<p>水上のスポーツにつきましては、カヌーやボートなど競技団体を中心に県内でも活動が行われており、県では、その競技人口の拡大や競技力向上に向けた取組に支援を行っているところです。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
21	<p>中学校運動部の地域移行をきっかけとして、今後、地域スポーツの構造変革は急激に進んでいくと思われます。人口減少で縮む社会において、徳島の地域スポーツ文化を持続可能なものにしていくには、有資格スポーツ指導者の計画的な育成に課題があると考えます。中学校顧問教員が地域スポーツ指導者として兼務できる体制に移行するにしても資格取得は必須です。スポーツの競技力向上にしても住民への普及活動にしても、有資格指導者を計画的に育成し適材適所に配置できる仕組みをつくらなければ、徳島のスポーツ推進の社会基盤は崩れてしまうと予想します。スポーツ協会をはじめ各競技団体は有資格指導者の育成目標を設定し計画的な支援策を展開していく必要があります。</p> <p>また、社会人のボランティアスポーツ指導者活動に対する支援も重要です。企業におけるボランティア時間休暇の取得の推奨や企業の社会貢献活動として承認されるような体制づくりを進め、彼らのボランティア活動の環境整備をしていくことも必要です。</p> <p>加えて、スポーツ少年団がジュニアリーダー（小学5～中学生）やシニアリーダー（高校生～大学生）を育成していますが、これは地域スポーツクラブにおける青少年の「ささえるスポーツ」の人材育成システムとして有効です（シニアリーダーの資格を取得すれば成人してスタートコーチ資格が持てます）。青少年にとって地域の「ささえるスポーツ」の経験は、次世代への地域スポーツ文化の継承として重要な機会となります。中学運動部が地域に移行するのをきっかけに、地域クラブとして新たにスポーツボランティア部のようなささえるスポーツ活動の場を推奨し、ささえるスポーツの社会基盤整備を進めていく必要があります。</p>	<p>ご意見のとおり、指導者を含めたスポーツを「ささえる」人材の育成は、地域のスポーツ活動を活性化させ、持続可能なものとするために重要と考えております。</p> <p>特に、有資格スポーツ指導者の育成は、運動部活動の地域移行を目前に控えた今、喫緊の課題と考えており、第3期計画の基本目標1の施策「ジュニア選手からトップアスリートまで切れ目ない指導体制の整備」中に「②指導者等の育成」の取組を追加いたしました。</p> <p>また、第3期計画で新たに加えております「アスリートのキャリア形成」、「スポーツボランティアの発掘・育成」の各施策におきましても、スポーツを「ささえる」人口の拡大を目指すこととしております。</p>

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
22	現状の施設を全国レベルや競技志向に整備するのも重要で進めていただきたいが、県民が気軽に体を動かせるような環境施設（ニューヨークのセントラルパークのような）も整備いただきたい。	県では、第3期計画基本目標4中の「スポーツ環境の向上」に基づき、国際大会や全国大会、国内トップリーグの大会に対応した施設整備や県民が安心してスポーツを楽しむためのスポーツ施設の安全対策等に取り組むこととしており、いただいたご意見を踏まえ、今後もスポーツ環境の向上を図ってまいります。
23	それぞれのスタイルでスポーツを楽しむための環境（ハコモノ）の整備をお願いしたい。日常的に使いやすい施設であれば、スポーツを楽しみたい人を掘り起こすことができるのではないだろうか。	
24	徳島県が新徳島県立体育館を「徳島の横浜アリーナ」, 「徳島のさいたまスーパーアリーナ」, 「徳島の幕張メッセ」, 「徳島のSAGAアリーナ」にする。 ※SAGAアリーナは令和5年春オープン SAGAアリーナのこけら落とし公演は、松任谷由美SAGAアリーナ公演	
25	ホストタウンを契機とした交流を特定に偏ることなく、他の競技や地域拡大し、広く県民に機会を提供いただきたい。	県では、第3期計画基本目標4の各施策において、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたホストタウン相手国との交流をはじめ、今後開催される国際スポーツ大会への機運醸成などに取り組むこととしております。いただいたご意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。
26	身近でスポーツを定期的楽しめる場を増やしていただきたい。	県では、第3期計画基本目標3の各施策において、「身近なスポーツ活動の場の整備」や、「地域におけるスポーツ活動の充実」に向けた総合型地域スポーツクラブへの支援等に取り組むこととしており、誰もが身近な場所でスポーツを楽しめる環境の整備を図ってまいります。
27	<p>コロナ禍により、感染予防対策のため引きこもりの生活時間が多くなったこともあり、スポーツによる健康・体力づくりの大切さを多くの皆さんが忘れがちになっているのではないのでしょうか?特に運動神経が良く伸びると言われている幼児期の子どもたちが、運動を実施する機会が非常に少なくなっているように思えます。本スポーツクラブにおいても2、3年前から子どもの入会者が激減し、運動を通じて得られる「心身共に健全な子どもの育成」に不安を抱えています。また、このような時代に育った子どもたちが創る未来はどうなるのだろうかとも思っています。これからの、事業計画の中に、地域でスポーツ活動を通じて生き生き活動できる仕組みを徳島県として考えていただきたいと思えます。</p> <p>私たち総合型スポーツクラブのクラブマネジャーは、文科省・スポーツ協会・県・市町村の情報を素早く察知しながら動く体制が、常にありますのでそのシーンにあった指導も素早く対応できると考えています。このような組織も有効活用して明るい元気な未来の創生をお願いします。</p>	

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
28	<p>行政や各競技団体が把握しきれていないであろう、何も属さない活動から新たなリーダーの発掘や、育成ができるのではないだろうか。</p> <p>また、こういう場に連れられてくることで子どもの体力向上にもつながるのではないか。スポーツクラブや少年団等での「習い事」ではなく、「遊ぶ」ことでこそ、本質的な体力向上につながると思われる</p>	<p>地域スポーツにおける人材の確保は重要な課題と考えており、いただいたご意見につきまして、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p> <p>また、子どもの体力向上については、第3期計画基本目標2の各施策により、運動を「好き、楽しい」と感じてもらえるよう、ご意見の「遊ぶ」ことを含め、子どもがスポーツに親しむ機会の確保に取り組んでまいります。</p>
29	<p>運動部活動の地域移行が言われる中、日本の最先端に行く制度設計をしてはどうだろうか。中高部活動の見直しを含めて、体育とスポーツの一元的な見直し、制度作りを試みてはどうだろうか。</p>	<p>県では、令和3年度から運動部活動の地域移行に向けた実践研究のモデル事業に取り組んでいるところです。また、本年（令和4年）8月・10月には、「徳島県運動部活動の地域移行推進協議会」を開催し、関係者との協議を行ったところです。今後も引き続き、第3期計画基本目標2中の「運動部活動改革の推進」に基づき、公立中学校での運動部活動の円滑な地域移行を目指してまいります。</p>
30	<p>運動部活動の地域移行について、都心部と地方で現状が大きく異なると思う。その地域に即した移行ができるように、現場の声を聞く機会を多く設けたり、関係者の方々が十分にコミュニケーションをとれる場を作ることが重要だと思う</p>	
31	<p>「元気なとくしま」施策3、4 学校運動部活動改革の推進、競技力向上人材（指導者）の確保、育成が課題となっている。</p> <p>1人が1種目では当然人材不足が考えられるため、1人多種の多様な活躍ができるスキルアップキャリア形成支援を望む</p>	<p>県では、学校運動部活動改革の推進に向けて、令和3年度から運動部活動の地域移行に向けた実践研究のモデル事業に取り組み、本年からは「徳島県運動部活動の地域移行推進協議会」を開催し、関係者との協議を行いつつ、検討を進めております。また、競技力向上人材（指導者）の確保、育成については、県と県スポーツ協会が合同で競技団体からのご意見をいただく機会を作り、情報の共有等を行っております。今後もしっかりと連携し、人材育成の取組を行ってまいります。</p>

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
32	<p>徳島県及び徳島県教育委員会とが一体となって、香川県及び香川県教育委員会の協力を得て、徳島県立鳴門高等学校なぎなた部と香川県立琴平高等学校なぎなた部との定期的な強化練習試合を行う。そして、徳島県立鳴門高等学校なぎなた部が全国国民体育大会のなぎなた少女の部で全国優勝する。</p>	<p>県では、「あわスポーツ・ブルーミング戦略事業」で優秀な競技者を対象に、遠征や強化合宿に参加し強化を図るための活動費を助成し、支援しているところ。加えて、徳島県高等学校体育連盟競技専門部にもスポーツキャンプ事業にて強化費の助成を行い、県外チームとの強化活動ができる支援しております。今後も引き続き、高校スポーツの競技力向上に支援を行ってまいります。</p>
33	<p>徳島県・徳島県教育委員会・徳島県陸上競技連盟が一体となって、全国高等学校駅伝競走大会における徳島県の順位を上げる。</p>	
34	<p>徳島県が、ドイツ連邦共和国のニーダーザクセン州政府との「徳島県・ニーダーザクセン州との県州友好提携協定」に基づいて、ドイツ・ブンデスリーガ所属のハノーファー96又はVfLヴォルフスブルクとの間でパートナーシップ協定の締結ができるようにする。</p> <p>※浦和レッズはドイツ・ブンデスリーガ所属のフランクフルトとの間で、パートナーシップ協定を締結します。</p>	<p>県では、ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流提携に基づき、スポーツ交流を行っているところです。いただいたご意見につきましては、今後の本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
35	<p>徳島県から県外へ進学し、スポーツで好成績を残した選手を、徳島県内で雇用してくれる仕組みを作ってほしいです。</p>	<p>「とくしま帰郷」の視点は重要であると認識しており、いただいたご意見につきましては、今後の本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
36	<p>徳島県が「とくしまマラソン」において、世界の六大マラソン大会・ワールドメジャーズマラソン大会(東京マラソン・ボストンマラソン・シカゴマラソン・ロンドンマラソン・ベルリンマラソン・ニューヨークシティマラソン)に出場した選手を招聘して「とくしまマラソンにおける国際化」の推進を行う。</p>	<p>「とくしまマラソン」は、A I M S 及びW A 認証の国際大会として国際枠を設け、これまで多くの海外ランナーに参加していただいているところです。今後さらに、競技性・大会の魅力向上を図るとともに、第3期計画基本目標4の各施策において海外に向けた情報発信、知名度向上に努めてまいります。</p>
37	<p>徳島県が官民一体となって徳島陸上競技連盟を通じて、日本陸上競技連盟に要望して「とくしま国際マラソン」の国際化への進展を行う。</p> <p>※福岡国際マラソン，さいたま国際マラソン，湘南国際マラソンなど</p>	

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
38	<p>徳島県官民一体となって、FC徳島のJFL入りを応援する。(JFLのクラブは、JFLの主の浜松FC, Honda FC, 三浦知良選手が在籍している鈴鹿ポイントゲッターズ, FC大阪, 高知ユナイテッドSCなど)⇒目標管理は、全国都道府県国民体育大会で、徳島県サッカー成年男子代表チームが全国優勝すること</p>	<p>地元のスポーツチームの活躍により、にぎわいの創出、地域経済の活性化等、さまざまな効果が期待できることから、県としても、地元のチームを引き続き支援してまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の本県スポーツ施策の参考にさせていただきます</p>
39	<p>徳島県官民一体となって、徳島ガンバロウズのBリーグ入りを応援する。(Bリーグのクラブは、アルバルク東京, 滋賀レイクス, 京都ハンナリーズ, 大阪エヴェッサ, 島根スサノオ・マジック, 香川ファイブ・アローズ, 愛媛オレンジ・バイキングスなど)⇒目標管理は、全国都道府県国民体育大会で徳島県バスケットボール成年代表チームが全国優勝すること</p>	
40	<p>徳島県、鳴門市、JR四国とが一体となって、JR鳴門線から徳島ヴォルティスのホームスタジアムの鳴門大塚ポカリスウェットスタジアムまでのアクセス向上のために、JR鳴門駅から鳴門大塚ポカリスウェットスタジアムまでDMVを運行する。併せて、JR鳴門線にJR鳴門大塚ポカリスウェットスタジアムラインの愛称名をつける。</p> <p>※埼玉高速鉄道のさいたまスタジアム線の岩槻駅(東武野田線アーバンパークラインの岩槻駅と地下駅で接続)までの延伸開業の際には、浦和レッズのホームスタジアムのさいたまスタジアム2002の前に常設のさいたまスタジアム駅が開業の予定</p> <p>※鹿島臨海鉄道の大洗鹿島線は鹿島アントラーズのホームスタジアムの鹿島スタジアムにおいて、鹿島アントラーズのサッカー試合開催日だけ鹿島スタジアム駅を営業する。</p> <p>※JR東海は東海道本線にジュビロ磐田のホームスタジアムのジュビロヤマハスタジアムの最寄りの駅となるJR御厨駅を開業した。</p> <p>※サガン鳥栖のホームスタジアムの駅前不動産鳥栖スタジアムはJR鳥栖駅前</p>	<p>JR鳴門駅からスタジアムまでの間については、関係機関と連携して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴門駅からスタジアムまでのシャトルバスの運行 ・鳴門駅からスタジアムまでの「ヴォルティスロード」の整備 ・鳴門駅での徳島ヴォルティスの装飾の実施 ・鳴門駅での対戦チームサポーターへの歓迎装飾の実施 <p>等、スタジアムまでのアクセスの向上や応援機運の醸成を図っております。今後も関係機関と連携し、観客の利便性向上に努めてまいります。</p>

番号	御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
41	徳島県・徳島県陸上競技連盟が一体となって、天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会及び皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会における徳島県の順位を上げる。	県では、「オリンピック・国体選手育成事業」等において、全国大会等で活躍が期待できる優秀な競技者や競技団体に対し、強化事業に対する支援を行っております。今後も引き続き、本県の競技力の向上に努めてまいります。
42	徳島県が「とくしまマラソン」において、全日本実業団対抗陸上競技選手権大会に出場した各実業団陸上部の陸上選手を招聘する。	今年度、「とくしまマラソン」は、JMC（ジャパンマラソンチャンピオンシップ）シリーズ加盟により、マラソンの日本選手権者の決定や五輪代表選考レースに関わる大会として位置づけられたことから、今後は各実業団陸上部の選手の参加も見込まれるところです。また、従前から招待大学として、東京六大学や龍谷大学の陸上選手を招聘してきたところで、ご意見を参考に今後も競技性の向上につながる取組を推進してまいります。
43	徳島県が「とくしまマラソン」において、全日本大学駅伝大会に出場した各大学の陸上部の陸上選手を招聘する。（出雲全日本大学駅伝大会・東京=箱根往復大学駅伝大会・熱田神宮=伊勢神宮往復大学駅伝大会を含む。）	さらに、市民ランナーの満足度向上をはかるため、「RUN as ONE -Tokyo Marathon 2024(一般)」と提携し、とくしまマラソン参加者の中から抽選で東京マラソン2024の出走権を提供するなど、他大会との連携強化にも努めているところです。大会の特徴である「県民の皆様によるおもてなし」により大会は大きく成長してきましたので、今後も県民の皆様にお支えいただきながら、大会の充実が図られるよう取り組んでまいります。
44	徳島県が「VS東京」の取り組みの一環として、とくしまマラソン対東京マラソンの実施を行う。	
45	徳島県及び徳島県教育委員会とが一体となって、徳島県立鳴門渦潮高等学校のスポーツ科学科の生徒を筑波大学体育専門学群、早稲田大学スポーツ科学部、日本体育大学体育学部にはスポーツ推薦入学させる。	県では、鳴門渦潮高等学校をスポーツ拠点校として、スポーツ環境の整備を図っており、今後とも競技力の向上に努めてまいります。 いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。
46	徳島県及び徳島県教育委員会が一体となって、東京大学競技ダンス部の協力を得て、徳島県内の公立高等学校の運動会に競技ダンスを取り入れる。	ダンス（表現運動）は小学校、中学校では必修、高等学校では選択科目として定められており、学生の間にも多様な運動を経験できる環境づくりに努めております。 いただいた御意見につきましては、本県スポーツ施策の参考にさせていただきます。